

学年末確認テスト講評(中2生)

●英語●

・中2選抜東大英語(2EJSS)

今回の学年末確認テストは、本科3期の学習内容を中心に、それ以前に学んだことも含めて出題しました。範囲が広く、難易度が高く感じた方も多かったかもしれません。

比較表現については、さまざまな形があるので覚えるのも大変かもしれませんが、今後高校範囲の学習に進んでからも重要となるものばかりですので、しっかり復習して定着させ、自在に活用できるようにしておきましょう。

不定詞を用いた表現についても同様です。また、間接疑問文や付加疑問文、感嘆文についても、理解に不安がある部分については再度丁寧に確認しておいてください。

今回のテストでは、まとめの総合問題として読解問題と自由英作文を出題しました。ここまで学習してきた中学範囲の知識を活かし、解答することができたでしょうか。思うように得点できなかったという人は、自分が苦手とする部分がどこなのかを、この機会に振り返ってみてください。

中3ではいよいよ高校範囲の学習に入っていきます。重要単元についてさらに発展的学習をしますので、理解に不安がある箇所が残っている場合には、今のうちにきちんと復習しておいてください。

・中2東大英語(2EJS)

今回の学年末確認テストはいかがだったでしょうか。2EJSを受講してきたみなさんは、レッスンテストでも日々復習を重ねてきていますので、7割前後は得点できてほしいところです。

1や2のような単語・文法の基本的な問題で間違えている場合は、必ずもう一度該当の単元を見直しましょう。見直すだけでなく、もう一度何も見ない状態で問題を解いて、次は正解できるようにしておいてください。

3と4は基本例文がいかに身につけているかが、得点の分かれ目です。テスト前に慌てて勉強している人は、訳しもれや単語の抜けが出ているでしょう。一気に覚えてしまうのではなく、毎週少しずつ使える例文を増やしていきましょう。

中3ではこれまでに学んだ重要単元の内容をさらに発展させていきます。理解があいまいだったり、不安がある箇所が残っている場合には、今のうちにきちんと復習しておいてください。

●数学●

・中2選抜東大・医学部数学(2MJSS)

2MJSS学年末確認テストでは、本科3期に学習した、論理と集合・論証(数学Ⅰ)、整数(数学A)、等式・不等式の証明(数学Ⅱ)について出題しました。全体として、基本の式変形や処理が出来ていない答案が残念ながら多かったです。授業を受けて終わりではなく、補充問題までしっかり復習するという「習慣」をつけましょう。

【1】の小問集合では、集合および整数問題を問いましたが、[A]で集合の記述になっていない答案が多く見られました。

【2】は必要十分条件についての問題でしたが、『 $P \Rightarrow Q$ 』と『 $Q \Rightarrow P$ 』のどちらが成り立つのか、しっかり吟味して、判断する必要がありますが、現時点ではできていません。

【3】は不定方程式・余りの問題でしたが、比較的よくできていました。2次の不定方程式の解法については、しっかり復習しておきましょう。

【4】は不等式の証明でした。(左辺) - (右辺) の形から、始められていない答案も多かったので、証明方法について、再度復習しておきましょう。

【5】は相加相乗平均を用いた最小値問題でしたが、手が出ていない答案もありました。

【6】【7】は背理法を用いた証明でした。対偶を証明することに気がつけばできる問題でしたが、難しかったようです。実際、大学入試の問題ではこの証明の理解を前提とした問題が多く出題されます。問題を解いて終わりではなく、振り返って本質の理解をする姿勢を常に持つようにして下さい。

・中2数学(2MJS)

今回出題された問題の難易度は標準的になります。前半の計算問題よりも後半の記述問題でいかに得点できたか否かがポイントです。得点が高かったからといって安心せずに、復習に力を入れてください。

【1】【2】は満点を狙いたい問題です。配点が高く、ここでの失点は大きく影響しますので要注意です。

【3】は何を聞かれていて何を答えるべきか、しっかり問題文を読んで解答したい問題です。言葉足らずで減点された人は特に注意しましょう。

【4】は正八角形の図形を正しく描き、その性質をつかんで三平方の定理を利用する問題です。

【5】の半円問題は、問題文からの条件を読み落とさないように注意が必要です。

【6】は比較的解き易い証明問題でした。証明の方針やなぜその等式がいえるのか等、根拠を明確に述べて減点されない答案作りを心がけましょう。1つの問題を様々な方向から見て証明することで、定理の使い方を正しく習熟していきましょう。